

学校ニュース

国見小学校

11月22日、国見校区合同教育講演会が行われました。ワークショップデザイナーの高崎先生を講師に迎え、「一人ひとりが大切にされるために」という演題でお話していただきました。子どもとの接し方や人とのコミュニケーションのとり方をワークショップ形式で楽しく分かりやすく教えていただきました。講演を聞きに来られた方々から「あっという間の1時間半でした。おもしろかった。」「子どもとの接し方を振り返る良い機会になった。来て良かった。」等の感想をいただきました。



国見中学校

11月10日に、助産師の上村直美先生を講師としてお招きし、「命の尊さ」や「性的マイノリティ」について授業を行っていただきました。生徒たちは真剣なまなざしで聞き入っていました。授業の中で妊婦体験をした男子生徒は「長時間座っているのはとても苦しかった。」「お腹の中に赤ちゃんがいると考えると守ってあげたいという気持ちになる。」と話していました。授業を通して生徒たちは、命の尊さや一人ひとりがとても大切な存在であるということについて改めて理解を深めました。



11月4日に「国見の会」を実施し、今回は県道沿いにある小中両校の立て看板の塗装を行いました。看板周りの除草作業を行い、その後、看板の上部から下部にわたり、油性木部着色剤（オイルステイン）を塗りました。

そして、最後にハケを使い、白ペンキで文字の隅々まで塗装作業を行いました。当日、集まった方々の思いがこもった素晴らしい立て看板が仕上がりました。御協力頂いた皆さん、誠にありがとうございました。

